

# 第1回認知症介護実践者研修（旧カリキュラム）

## 受講者募集要綱

### 1. 開催目的

認知症高齢者が増加する中、高齢者介護実務者に対し、認知症高齢者がある能力に応じて自立した生活を営むことを支援できるよう、福祉専門職として、どのようなサービス形態であっても介護現場で実践できる専門職員を養成することにより、認知症介護の知識や技術を修得し、もって認知症高齢者に対する介護サービスの充実を図ることを目的とする。

### 2. 主催者

社会福祉法人ほくろう福祉協会【札幌シニア福祉機構】

※ 札幌市指定 第7号（平成22年4月22日）

※ 北海道指定 第7号（平成22年5月20日）

### 3. 研修対象

1. 認知症介護業務に従事する介護職員等であって、原則として認知症介護基礎研修を修了した者あるいはそれと同等以上の能力を有し、身体介護に関する基本知識・技術を修得し、介護保険施設・事業所等において、認知症介護業務に概ね2年程度従事した経験を有する方。
2. 居宅介護支援事業所等で居宅サービス計画等の作成に従事する介護支援専門員であって、認知症の利用者に係る計画等作成の経験を、概ね2年程度有する方。

### 4. 研修内容及び定員

	研修内容	研修時間
①	講義・演習	5日間（31時間30分）
②	実習	自施設実習4週間＋他施設実習1日
③	実習報告等	3時間
※詳細なカリキュラムは別表1のとおりです。		

【定員】 30名

- ※ 新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、オンラインによる研修に変更する場合があります。
- ※ 全ての研修時間を満たした方に、修了証書を交付します。

## 5. 研修会場

①講義・演習及び③実習報告等の会場は次のとおりです。

第1回	かでの2. 7 札幌市中央区北2条西7丁目 ※札幌駅 徒歩12分 地下鉄大通駅 徒歩9分 有料地下駐車場があります。
-----	---

②実習

他施設実習	新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図る観点から、受入先施設の状況等に応じて、他施設実習を自施設実習で代替します。
自施設実習	各受講者が所属している施設・事業所

## 6. 申込み方法及び決定

**様式1** 申込書に必要事項を記載し、施設・事業所代表者の印を捺印の上、郵送により申込み下さい。〆切は令和4年6月30日です。

受講要件及び申込順により、決定書を送付します。尚、申込多数の場合等は、受講できないこともありますので、ご了承願います。

## 7. 受講料 23,000円

※ 受講決定通知書発送後、研修前日までに指定口座に振込をお願いいたします。

※ 振込後のキャンセルは、振込手数料を差し引いた受講料をご返金致します。

## 8. 講義・演習担当講師

定められた認知症介護指導者が担当します。

## 9. 留意事項

- ・ 申込書の記載は、慎重に御願います。(実務経験等の不実が認められた時は、修了証書を交付できません。)
- ・ 事務局から受講決定通知書を送付した以降は、原則、受講者の変更は応じられません。
- ・ 研修効果を高めるため、受講者ご自身の問題意識等について、所定様式により提出していただく場合がございます。(受講決定通知書と一緒にご案内します。)

## 10. 開催日程

講義・演習 【5日間】	令和4年7月11日(月)～令和4年7月15日(金)
自施設実習 【4週間】+【1日間】	令和4年7月16日(土)～令和4年8月13日(土)
実習結果報告まとめ 【180分】	令和4年8月18日(木)

11. お申込み・問合せ先

社会福祉法人ほくろう福祉協会【札幌シニア福祉機構】  
〒004-0014 札幌市厚別区もみじ台北6丁目2番5-2号  
電話 011-897-1100  
担当者：五十嵐

※ ホームページでもご案内しております。

**札幌シニア福祉機構**

検索



認知症介護実践者研修カリキュラム (旧カリキュラム)

	時間帯	時間 (分)	科目	目的	内容
1 日目	9:30~9:45	15	オリエンテーション		・高齢者施策と認知症介護実践者研修等の位置づけ
	9:45~13:05	180	【講義・演習1】 認知症ケアの基本的視点と理念	高齢者施策における認知症ケアの方向性と位置づけを理解し、個人の尊厳を重視する認知症ケアの理念の構築を促す。	・認知症ケアの歴史の変遷 ・認知症ケアの理念構築 ・認知症ケアの理念構築 ・事故課題の設定
	14:00~15:00	60	【講義・演習2】 認知症ケアの倫理	認知症ケアの倫理の理念や原則を理解し、日常的なケア場面での倫理的課題と本人や家族の意思決定や意思表出の判断の根拠を踏まえ、支援のあり方について理解を深める。	・認知症ケアの倫理の理念や原則に関する基本的知識 ・日常のケア場面における倫理的課題と支援のあり方
	15:10~18:30	180	【講義・演習3】 認知症の人の理解と対応	加齢に伴う心身の変化、疾病、認知症の原因疾患、中核症状、心理的特徴を理解した上で、行動・心理症状（BPSD）の発生要因と実践場面での対応を理解し、認知症ケアの実践につなげる。	・加齢・老化に伴う心身の変化や疾病 ・認知症の原因疾患 ・認知症ケアの理念構築 ・自己課題の設定
2 日目	9:30~11:00	90	【講義・演習4】 認知症の人の家族への支援方法	在宅で介護する家族支援を実践する上で、その家族の置かれている状況や介護負担の要因を理解し、必要な支援方法が展開できる。	・家族介護者の理解 ・家族の心理と家族を支える方法
	11:10~13:10	120	【講義・演習5】 認知症の人の権利擁護	権利擁護の観点から、認知症の人にとって適切なケアを理解し、自分自身の現状のケアを見直すとともに、身体拘束や高齢者虐待の防止の意識を深める。	・権利擁護の基本的知識 ・身体拘束や高齢者虐待防止法 ・権利擁護のための具体的な取組み
	14:10~16:20	120	【講義・演習6】 認知症の人の生活環境づくり	住まいの様式、介護者の関わり方など認知症の人を取り巻く生活環境の構築や改善のための評価方法や調整方法を修得する	・認知症の人と環境の基本的知識 ・環境改善の評価と具体的な取組み ・環境のリスクマネジメント
	16:30~18:40	120	【講義・演習7】 地域資源の理解とケアへの活用	関係職種、団体との連携による地域づくりやネットワークづくり等を通じて、既存の地域資源の活用や認知症の人の暮らしを支える地域資源の開発の提案ができる。	・地域包括ケアの理解 ・インフォーマル・フォーマルな地域資源の理解と活用
3 日目	9:30~11:40	120	【講義・演習8】 認知症の人とのコミュニケーションの理解と方法	認知症の人とのコミュニケーションの基本的知識を理解し、中核症状の特徴や進行に応じたコミュニケーション方法を身につける。	・認知症の人とのコミュニケーションの基本的知識 ・認知症の人とのコミュニケーションの場面と方法
	12:30~14:40	120	【講義・演習9】 認知症の人への非薬物的介入	非薬物的介入やアクティビティプログラムなどの支援の取組みを認識しつつ、認知症の人の心理的安定や生活の質を向上するための活動についての理解を深めること。	・認知症の非薬物的介入やアクティビティ等の基本的知識と具体的な取組み ・認知症の人への介入の評価方法
	14:50~18:10	180	【講義・演習10】 認知症の人への介護技術Ⅰ (食事・入浴・排泄等)	食事・入浴などの基本的な生活場面において、中核症状の影響を理解した上で、日常生活の安全・安心の向上、健康の維持増進を図りつつ、認知症の人の能力に応じた自立支援の実践ができる。	・認知症の人への食事、入浴、排泄ケアの考え方 ・失行、失認、見当識障害がある人への対応方法
4 日目	9:30~12:50	180	【講義・演習11】 認知症の人への介護技術Ⅱ (行動・心理症状)	認知症の人の行動の背景を理解した上で、認知症の行動・心理症状（BPSD）に対してチームで生活の質が高められるような支援方法を修得する。	・攻撃的言動、徘徊、性的逸脱、不潔行為、帰宅願望等への対応方法とケアチームの連携 ・行動・心理症状（BPSD）の対応方法とケアチームの連携
	13:40~18:10	240	【講義・演習12】 アセスメントとケアの実践の基本Ⅰ	認知症の人の身体要因、心理要因、認知症の中核症状の要因のアセスメントを行い、具体的なニーズを把握することができるようアセスメントの基本的視点を理解する。	・アセスメントの基本的視点 ・ケアの実践のための基本的視点 ・アセスメントの手法に関する考え方
5 日目	9:30~12:50	180	【講義・演習13】 アセスメントとケアの実践の基本Ⅱ	アセスメントを踏まえた目標の設定と、目標を実現するためのケアの実践に関する計画の作成・立案ができる。チームでケアの実践に関する計画の評価やカンファレンスを行うことができる。	・アセスメントの基本的視点 ・ケアの実践のための基本的視点 ・アセスメントの手法に関する考え方
	13:40~18:10	240	実習課題設定	認知症の人が望む生活の実現に向けて適切なアセスメントを通じた課題と目標を明確にし、ケアの実践に関する計画を作成する。	・自施設実習及び他施設実習のねらい ・対象者の選定と課題設定 ・ケアの実践に関する計画作成
実習 1日間 今回は自施設実習とします			他施設実習	他の介護保険事業場への1日の見学実習を通して、自己の設定した課題の達成をめざし、その成果を得ること。	・実習課題に沿った実習の展開 ・研修目的に沿っていること
実習 4週間			職場実習	研修で学んだ内容を生かして、認知症の人や家族のニーズを明らかにするためのアセスメントができる。アセスメントの内容をもとに、認知症の人の生活支援に関する目標設定、ケアの実践に関する計画やケアの実践を展開できる。	・実習課題に沿ったアセスメント、目標設定、ケアの実践に関する計画作成、ケアの実施、モニタリング
最終日	9:30~12:50	180	自施設実習及び他施設実習評価	アセスメントやケアの実践に関する計画の実施結果を整理した上で、客観的に評価、分析し今後の課題を明確にすることができる。	・実習課題に沿った実習の展開 ・研修目的に沿っていること

合計 1890分 (31.5時間) + 実習課題設定240分 (4時間) + 他施設実習 (1日) + 職場実習 (4週間) + 実習報告まとめ180分 (3時間)

※スケジュールは変更になる場合があります

(様式1)

令和4年度 社会福祉法人ほくろう福祉協会【札幌シニア福祉機構】  
認知症介護実践者研修 受講申込書

年 月 日

社会福祉法人ほくろう福祉協会  
理事長 松本 剛一

所 属 名  
代表者氏名 印

次の職員に、標記研修の受講を申込み致します。尚、主な経歴及び認知症介護の経験年数については、記載のとおりであることを証明します。

受講希望開催回： 1 ・ 2 回目申込み

フリガナ		性 別	生 年 月 日	年 齢
受講者氏名		男 ・ 女	昭・平 年 月 日	才
現職名 ※1		従事している 資格名称 【○印】	介護福祉士・ホームヘルパー（1・2級） 介護職員実務者研修・介護職員初任者研修 看護師・准看護師・介護支援専門員・ 社会福祉士・無資格 その他（ ）	
法人名		経営主体 【○印】	社会福祉法人・医療法人・ NPO法人・株式会社・ 有限会社・その他（ ）	
勤務先種別				
事業所名				
所在地 住所・連絡	〒	電 話		
		F A X		
		E-mail		
主な職歴 (現に勤務 する施設・ 事業所での 経験年数も 含む)	期間	通算期間	勤務先	職務内容
	年 月～ 年 月	年 ヶ月		
	年 月～ 年 月	年 ヶ月		
	年 月～ 年 月	年 ヶ月		
	年 月～ 年 月	年 ヶ月		
	年 月～ 研修受講月	年 ヶ月		
■ 認知症介護の経験年数（研修受講月現在） ■				
合計 年 ヶ月				
備考※2				

※1 介護主任・介護リーダー等、現在の施設・事業所での職務内容がわかるよう記載して下さい。

※2 開設準備中及び増設並びに計画作成担当者が不在になるなど、特記事項を記入して下さい。